

2024年春。ちょうど2年後の今、百年に一度の好機といわれる北陸新幹線敦賀開業が予定されています。この機会を活かし、関係人口の増加を図るべく、官民挙げて様々な取り組みが行われています。

その一つ、令和3年9月にキックオフした「敦賀をひろげるプロジェクト」は、敦賀を盛り上げ、敦賀の魅力発信するプロジェクト。

敦賀に住む・働く多様な方が所属を超えて、学校の同級生やサークルの仲間のようにフラットにつながりながら「敦賀をこんな街にしたい」「こんなことできたら面白そう」というアイデアを持ち寄り、それぞれの得意分野を活かして、街づくりに挑戦してきました。

この半年間の成果を活かして、いよいよ街づくり企画を実行していきます。



敦賀をひろげるプロジェクト —半年間の軌跡—



プロジェクトでは、街づくりに想いを持つ参加者同士が半年間・6回のワークショップを重ねて、想いやアイデアを具体的な企画へと昇華させていきました。

集まったメンバーは28人。大学生や会社員、商店街でお店をされている方、お笑い芸人など、年齢も20代から80代まで多種多様な参加者が意見をぶつけあいながら、敦賀の魅力発信・盛り上げに挑戦しました。

まずは、何気ないアイデアを出し

プロジェクトの歩み

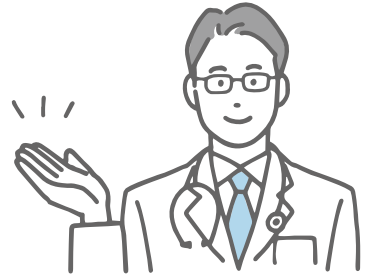
参加者同士で新たな気づきを求めて、街に繰り出したり、プレイベントをやってみたり、実現のためのノウハウを学ぶ講座を受けたり・・・参加者の小さなアイデアが繋がって、それぞれが具体的な企画を提案しました。



新型コロナワクチン 3回目接種

新年度が始まった今、早めのワクチン接種を

新年度に入り、新しい環境で初めての人たちと接する機会が増える方も多いと思います。自分だけでなく、家族や職場、友人などまわりの方々のためにも、ワクチンの種類にかかわらず早めの3回目接種をご検討ください。



◆接種時期および接種券の発送

- ▶ 2回目接種日から6か月が経過した方は3回目の接種を受けることができます。
- ▶ 接種券は2回目接種日から5～6か月経過時にお送りしています。6か月が経過しても届かない方はコールセンターまでお問い合わせください。
- ※ 2回目接種を他自治体で受けた後、敦賀市に転入した方は接種券の発行申請が必要です。

◆対象年齢

4月からは12～17歳も3回目接種の対象となります。
(12～17歳が接種可能なワクチンはファイザーのみ)
12～17歳の方へは下記の日程で接種券をお送りします。

- ▶ 2回目接種日が11月30日以前の方 → 4月1日に発送済み
- ▶ 2回目接種日が12月1日以降の方 → 2回目接種日から5～6か月経過時に発送

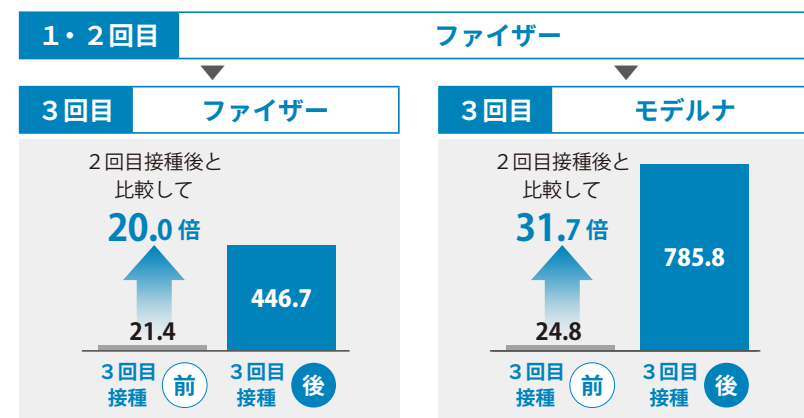
◆予約時にワクチンの種類を選択

予約の際、ファイザーとモデルナ、いずれかのワクチンを選択する必要があります。接種当日の変更はできませんので、各医療機関が扱っているワクチンの種類を必ず確認して予約してください。

▶ いずれのワクチンの場合も中和抗体量は十分上昇し、オミクロン株にも有効と報告されています。

▶ 1・2回目と異なるワクチンを接種しても、副反応や安全性について大きな差はないとされています。

追加接種後の中和抗体量 (単位: IU/ml)



出典：厚生科学審議会分科会資料
※この研究における3回目モデルナの量は100μg（日本の3回目接種量は50μg）

5～11歳のお子さまの接種

接種は強制や義務ではありません。接種券に同封の案内や市HPに掲載のチラシをよくお読みいただき、接種についてお子さまと一緒にご検討の上、ご予約ください。

予約方法 Webまたはコールセンターに電話 (☎24-5025)



▲Web予約



- ※保護者の同伴による接種が原則です。
- ※使用ワクチンはファイザーの小児用ワクチンです。
- ※今後5歳になるお子さまには、誕生月の翌月に接種券を発送します。

※3月28日現在の情報です。最新の情報は市HPや行政チャンネルなどでお知らせします。
※緊急の際は、防災チャンネルで情報発信を行いますので、定期的にご確認ください。

問い合わせ・予約先

敦賀市新型コロナワクチン
接種コールセンター

☎ 24 - 5025 FAX 24 - 5026
(月～土) 9:00～17:00 (日・祝を除く)

※市HPはこちらからご覧ください。

敦賀市 ワクチン接種



最終報告会の様子はこちらから▶▶▶



4つのチーム

28人のメンバーは、同じ目標をもつメンバー同士で4つのチームに分かれました。

1つ目は、**haco-bu**。まだ使えるけど、使えていないハコ(官民間わず)を活用したイベントを実施して、仲間を増やす計画です。

2つ目は、**ザ・ゼロイチフューチャーズ**。ゼロからイチを生み出す新たなコミュニティ創りを通して、敦賀の活性化を目指します。

3つ目は、**やさSEA〜つくる癒しのシーサイド〜**。海辺×優しいをテーマに癒しの空間を作ることを目指して進めてきました。

4つ目は、**Conext〜駅と港をつなぎ隊〜**。人と人、街と街をつなげ、新しい魅力探しに奔走してきました。半年間の取り組みを踏まえ、3月19日には、アクション宣言ともいえる最終報告会において、それぞれがこれから取り組んでいく企画を発表しました。

計画から実行へ

4つのチームは、敦賀の資源を様々な角度から眺めて、異なる魅力を引

き出せるような企画の実践を目指しています。それぞれ、新幹線が来るまでのフェーズ、そして新幹線開業後の未来を見据えたフェーズに分けて、着実なビジョンを持って羽ばたき始めました。

具体的な実行に当たってはハードルがありますが、本市としましては、できる限りのバックアップを行い、それぞれの企画が継続的に実施できるように支援してまいります。

今後も、このような住民が主体的に敦賀の魅力を発信し、それが伝播して外に広がっていくような取り組みやプロジェクトが生まれる仕組み作りをさらに進めていきたいと思っています。

team04 Conext〜駅と港をつなぎ隊〜



幻想的な「影絵」。市内をアートでつなぐ第1歩

"Conext"は"Connect"と"next"の造語で、私たちは「アートで街の魅力をつなぎ、人と人をつなぎたい」という想いで集まりました。駅前商店街から金ヶ崎緑地までの道を影絵で彩ることで敦賀の魅力に触れてもらおうと考えています。

初めの一步として、みんなで影絵を作ってみる「かげアートトライアル」を開催しました。子どもも大人も夢中になって影絵を制作しているのが印象的で、完成した作品を鑑賞するときには、幻想的な空間に参加者全員で浸っていました。将来的には影絵を商店街のシャッターや道に映射したいと思っています。



team03 やさSEA〜つくる癒しのシーサイド〜



緑地休憩所(旧敦賀ムゼウム)で癒しの空間づくり

私たちは「癒し」をテーマにしたチームです。緑地休憩所で、ノンアルコールバー、あんま屋、Free Tent、抹茶体験のブースを出展しました。イベント当日は、招待客のほか多くの方が訪れ、ブースや敦賀の海が見渡せる景色を楽しんでいただき、癒しの時間をお届けできました。

イベントでは、各々がやりたいことをしつつ「癒しの空間を作る」という共通のテーマを実現できました。来場者からいただいた多くの感想・コメントをこれからの活動に活かしていきます。



team02 ザ・ゼロイチフューチャーズ



カレーに謎解きゲーム。子どもも大人も楽しめる「おてラボ」

私たちは「人と人とのつながりを大切にしたい」という継続的な新しいコミュニティ創りがテーマです。第1弾として、本勝寺さんに協力いただき、子どもたちがカレーを作り、家族に振る舞う「おてラボ」を計画しました。カレーはオリジナルのヴィーガンカレーです。また、レクリエーションも「謎解きゲーム」や「カレーネタの漫才」などを披露し、本番に向けての準備を進めました。

今後、精進カレーを商品化し、ふるさと納税返礼品とするなど、敦賀市の活性化につなげていきます。



team01 h a c o - b u



廃校・廃ビルを活用。やりたいことを持続的に

チーム名であるhaco-buは空間(ハコ)をCreatして、敦賀に人を運ぶ部活という意味です。私たちは「利用されていない「箱」資源を使って、再びスポットを当てる」をテーマに「持続可能な利用ができること」を考えて、イベントを企画しました。敦賀北小学校や空きビルを利用したパーティーイベントを実施しました。

当面は、空き空間を利用した活動を行い、プロジェクト・空間・人材をまとめる情報のプラットフォームを作り上げ、個性的な居場所がたくさんある敦賀を作りたいと思っています。

